

## 九州・沖縄母子保健研究ベースラインデータの結果 *IL5RA* 遺伝子多型とアレルギー性鼻結膜炎との関連

**背景：**インターロイキン5は好酸球や好塩基球を活性化する。*IL5RA* 遺伝子多型とアレルギー疾患との関連を調べた研究は限られているが、結果は一致しない。

**方法：**九州・沖縄母子保健研究に参加し、遺伝子解析研究に同意した1492名の母親の内、International Study of Asthma and Allergies in Childhood (ISAAC) に基づき、過去1年アレルギー性鼻結膜炎と定義された393名を症例群としました。対照群として、ISAACで過去1年アレルギー性鼻結膜炎がなく、これまで医師にアレルギー性鼻炎と診断されたことがない767名を選びました。TaqMan法でrs17882210、rs3804797、rs334809、rs9831572、rs6771148、rs17881144の遺伝子多型を調べました。年齢、居住地域、年上兄弟数、喫煙、教育歴を交絡因子として補正しました。

**結果：**rs6771148のCC遺伝子型を基準とし、GG遺伝子型では有意な関連を認めませんでした。CG遺伝子型では有意にリスク低下と関連を認めました。

rs17882210、rs3804797、

rs334809、rs9831572、rs17881144はいずれもアレルギー性鼻結膜炎と有意な関連を認めませんでした。15のハプロタイプを検出し、ACTAGAハプロタイプは有意にアレルギー性鼻結膜炎のリスク低下と関連する一方、GTAGCAハプロタイプは有意にアレルギー性鼻結膜炎のリスク上昇と関連しました。喫煙との交互作用を検討しましたが、いずれのSNPにおいても有意ではありませんでした。

**結論：**本研究は世界で初めて*IL5RA* SNP rs6771148及び6つのSNPからなるハプロタイプがアレルギー性鼻結膜炎と有意に関連することを報告しました。

**出典：** Miyake Y, Tanaka K, Arakawa M. Case-control study of rhinoconjunctivitis associated with *IL5RA* polymorphisms in Japanese women: the Kyushu Okinawa Maternal and Child Health Study. *Cytokine*. 2014; 65: 138-142.

